

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ビリーブ諸岡		
○保護者評価実施期間	令和 6 年 11 月 30日		～ 令和 6 年 12 月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	令和 6 年 11 月 30日		～ 令和 6 年 12 月 6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多彩なプログラム	季節ごとのイベント、外出行事、クッキングなど利用者が楽しみながら経験を積むことができるように計画を立て、様々なプログラムを実施している。	利用者や保護者からの意見やリクエストも取り入れながら、より充実したプログラムとなるように工夫を行っていく。
2	児童指導員。社会福祉士、保育士、児童福祉事業経験5年以上といった職員が常勤が療育にあたっている。	利用者の人数を把握し、手厚い配置人数となるように非常勤職員も含め配置をしている。	質の高いプログラムが実施していけるように、研修などを行い職員の質の向上を図っていく。また、専門的支援加算を取り入れて支援を行っていく。
3	利用者の発達状況に応じた個別支援及び集団での支援	集団活動では、同年齢・異年齢の利用者とのイベント内、それ以外の時間での関わりの中でルールやコミュニケーションスキルの習得に積極的に取り組んでいる。イベントの内容によっては個別での支援を取り入れている。	引き続き家庭や学校との連携を図りながら、個々の特性や課題に気づき支援方法が固定化しないように努める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や地域の他の子どもと活動する機会がない。	地域の公園の利用やお店の使用などを通して、地域の方との交流を図ることはありますが、放課後児童クラブなど団体同士での直接的な活動の機会は設けられていない。	地域の行事に参加するなど必要に応じてそのような交流を持つ機会を検討していく。
2	活動スペースについて	定員10名に対してのスペースの基準は満たしているが活動内容によっては配置など工夫を必要とする。	限られたスペースではありますが、活動内容に合わせて安全面に考慮し日ごろの活動などを行っていきます。スタッフ間で死角や危険箇所などの共有を図り利用者の安全の確保を今後も行います。
3			